

「日本医師会 第2回医業税制検討委員会」報告

日時 令和5年2月8日（水）午後4時～6時
場所 日本医師会館（web参加）
出席者 医業税制検討委員会メンバー
厚生労働省医政局

① 令和5年度税制改正について（報告）

委員長より、「令和5年度税制改正大綱」における要望実現事項についての報告があった。

② 令和6年度税制要望について

委員長より、「令和6年度医療に関する税制要望項目一覧（タタキ台）」についての説明があった。その中で下記の2項目について重点論議した。

- (1) 「社会保険診療等に係る消費税制度の見直し」について、昨年度要望は「社会保険診療等の消費税について、小規模医療機関等においては非課税のまま診療報酬上の補てんを継続しつつ、一定規模以上の医療機関においては軽減税率による課税取引に改めることを検討すること」との表現に留まったが、今年度はさらに踏み込んだ内容を明記することとし、詳細については次回の継続審議となった。

また厚労省担当者より、「小規模医療法人においては非課税」について議論を詰めてほしいとの要望があった。

- (2) 「医業承継時の相続・贈与に係わる税制措置」については、病床規模別の認定医療法人数のデータを参照にし、有床診療所においても一定数の需要があることが確認された。また「新たな医療法人の形態についての検討」については、継続審議となった。

③ その他について

- (1) 厚労省担当者より、令和6年度税制要望の追加として「流行初期医療確保措置に係る収入について事業税非課税措置を講ずること」及び「社会医療法人に対する税制措置に係る所要の措置」の説明があった。

(2)委員より、「医療サービスの生産性向上の資する機器の優遇税制措置の創設（いわゆる医療DXの優遇税制）」の追加要望の議論があったが、次回の検討事項となった。

④ 次回日程

第3回医業税制検討委員会 令和5年4月5日（水）16時～18時

以上

全国有床診療所連絡協議会
茨城県 大場正二